



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 340
July
2021

トピックス

関係機関との協力推進

第2回セミナーでは、災害の教訓を利用した防災教育について議論

GLIDE運営委員会会議の開催

国際会議への参加

トルコ政府主催の緊急及び避難計画に関するワークショップへの参加

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
<https://www.adrc.asia>

© ADRC 2021

●関係機関との協力推進

第2回セミナーでは、災害の教訓を利用した防災教育について議論

アジア防災センター（ADRC）は、6月15日に開催された第1回セミナーに引き続き、2021年7月13日にADRCオンライン防災セミナー第2回「災害の伝承を通じた防災教育と普及啓発」を開催しました。世界から281人の参加のもと、過去の災害経験を活用し、次世代へ効果的に引き継ぐための防災教育と意識向上のための現在の取り組みと課題についての議論を行いました。本セミナーには、認知心理学、社会人類学、国際NGOなど様々なバックグラウンドを持つ3人を招聘し、行われました。

まず、邑本俊亮教授（東北大学災害科学国際研究所）は、災害の記憶や教訓を伝える上での障害は、「人々が災害の現実を想像することができず、それを他人事として扱うこと」であると述べた。これに対処するために、邑本教授は、学生が災害を「自分事」として認識する機会を提供できる革新的な教育方法を導入しました。この教育方法のプロセスは、次の通りです。1) 学校での学際的な講義、2) 被災地を訪問し語り部からの話を聞く、記念碑や博物館への訪問、被災者との交流などの活動を行う、3) 地震からの復興の問題点を把握し、解決方法を検討する、4) 学んだことをもとに自分たちで授業を計画実施し、他の生徒に伝える。このような「学習者が語り部になる」プロセスを通じて、生徒は災害を「自分事」として捉えることができると述べました。



東北大学 邑本俊亮教授（左上）、プラン・インターナショナル バンダ・レンコン氏（右上）、東北大学 セバスチャン・ボレ准教授（左下）

次に、バンダ・レンコン氏（プラン・インターナショナル・アジア太平洋地域事務所）は、東南アジアでは、ASEANセーフスクールイニシアチブ

続き

(ASSI)を通じて防災教育が推進されていると報告しました。このイニシアチブは政府が主導し、市民社会組織（CSO）と協力して実施されました。このイニシアチブは、災害管理と教育セクター間の分野横断的な調整を促進するだけでなく、子供と教育セクターへの災害の影響を最小限に抑えるために、学校安全のための技術、アプローチ、および活動について話し合い、共有するための場を提供しています。このイニシアチブのユニークな点は、正規教育とは別に、コミュニティの子供と親のための防災教育活動もあることです。例えば、インドネシアでは、防災の知識や教訓を伝えるための教育方法として「ワヤン」（人形劇）が使われています。

セバスチャン・ボレ准教授（東北大学災害科学国際研究所）は、防災教育の手段として、特に「集合的記憶」を伝えていくために博物館や記念碑が持つ役割の重要性を指摘しました。彼は、インドネシアのアチュ津波博物館の例を挙げました。この博物館は、教育と学習の中心としてだけでなく、記念碑、避難所、コミュニティが集まり、交流するための活動スペースとしても機能します。さらに、ボレ准教授は東日本大震災に関する記念碑の例を示しました。彼は、これらの記念碑を通して、コミュニティの住民が集合的に悲しみを表現する場になっていると述べました。また、地元の災害の歴史について学ぶことができ、さらに、モニュメントは災害観光を促進する地域の遺産にもなると紹介しました。

最後に、ADRCの中川雅章氏は、防災教育の方法論は、コミュニティの文化や慣習に沿って、与えられた状況において適切である場合、積極的な学習と行動を促進するために効果的であると述べ、セミナーは終了しました。

本セミナーの詳細については、次のWebサイトをご参照ください。

<https://acdr.adrc.asia/home/2021Seminar>



GLIDE運営委員会会議の開催

2021年6月30日、GLIDE運営委員会会議を実施しました。これはADRCがパートナー機関と共に、20年以上にわたり推進してきたGLIDE事業において、新たに設置するもので、ガバナンスを強化し、GLIDEのさらなる発展、普及を目指すものです。国連機関、国際機関、研究機関等より、10機関17名が参加しました。

本会議では、今年度の運営委員会議長に東北大学小野裕一教授が選出されました。今後、運営委員会は定期的開催され、さまざまなテーマに取り組んでいく予定です。

●国際会議への参加

トルコ政府主催の緊急及び避難計画に関するワークショップへの参加

2021年6月15日、ADRCはトルコ国家族社会政策省が主催する「Workshop on Accessibility of the Emergency and Evacuation Plans and Systems with International Participation」に参加しました。このワークショップはオンラインによって開催され、トルコや世界各国の関係機関が参加し、高齢者や障害者などの緊急及び避難計画に関する報告が行われました。

ADRCは、本ワークショップのセッション3「Examples of Good Practice on the Accessibility of Emergency and Evacuation Plans and Systems」に参加し、日本における災害対策基本法（Disaster Countermeasures Basic Act）に記述された災害時要援護者に関する説明や、高齢化社会における防災対策の課題などについて紹介しました。



 Uluslararası Katılımlı
**ACİL DURUM VE TAHLİYE PLANLARI
 İLE SİSTEMLERİNİN ERİŞİLEBİLİRLİĞİ**
 Çevrimiçi Çalıştay

“Acil Durum ve Tahliye Plan ile
 Sistemlerinin Erişilebilirliği Hakkında
 İyi Uygulama Örnekleri (2)”

**3. PANEL
 OTURUMU**
 15 HAZİRAN 2021

aile.gov.tr/eyhgm


 15 HAZİRAN 2021

 Tayyar KUZ Moderator	 Pavel DOBES Akademik Çalışmacı ve AR-GE Personeli, VSB-Ostrava Teknik Üniversitesi
 Makoto IKEDA Kıdemli Araştırmacı, ADRC-Asya Afet Azaltma Merkezi	 Marcie Roth Dünya Engellilik Enstitüsü, İcra Direktörü ve İcra Kurulu Başkanı

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。